



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL <https://www.e-extreme.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,351	15.2	422	△30.6	498	△12.6	290	△20.4
2021年3月期第3四半期	4,645	△13.1	608	△45.2	569	△43.7	365	△51.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 350百万円 (△7.9%) 2021年3月期第3四半期 379百万円 (△49.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	53.09	52.78
2021年3月期第3四半期	66.93	66.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,958	3,677	68.2
2021年3月期	4,747	3,416	66.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,383百万円 2021年3月期 3,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2022年2月14日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,220	15.9	520	△26.0	610	△18.7	355	△27.8	64.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2022年2月14日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	5,479,976株	2021年3月期	5,456,776株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	800株	2021年3月期	690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,476,663株	2021年3月期3Q	5,454,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ワクチン接種の促進など新型コロナウイルス感染症拡大防止策が進むことにより、停止していた経済活動が徐々に再開され、持ち直しの動きも期待されますが、新型コロナウイルスにおけるオミクロン株の感染拡大に加え、設備投資や個人消費には停滞感が強く、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループにおいては、一部の事業部門において在宅勤務を引き続き実施し、事態の長期化に備えつつ、当社社員が顧客先に常駐し、技術ソリューションを提供する「デジタル人材事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,351,851千円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益は422,459千円（前年同四半期比30.6%減）、経常利益は498,352千円（前年同四半期比12.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は290,779千円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、2021年8月より開始したテレビCM、動画広告などの販促効果が寄与し、新規及び既存案件における受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は5,272（前年同期稼働プロジェクト数は4,356）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,533,232千円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は541,285千円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規」「保守」「保守開発」「EPARK事業」の4つに大別されます。

子会社の株式会社E P A R Kテクノロジーズ、株式会社エクストラボ及びEXTREME VIETNAM Co.,Ltd.についても当該事業に含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、当社受託開発部門において発生した受注損失及びEXTREME VIETNAM Co.,Ltd.において新規案件受注が想定通り進捗しなかった影響により、セグメント損失が発生いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,915,177千円（前年同四半期比12.5%増）、セグメント損失は29,439千円（前年同四半期はセグメント損失73,371千円）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』の運営により、ライセンス許諾先である香港紫龍互娛有限公司及び上海紫舜信息技术有限公司を通じてゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生いたしました。

なお、スマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』に係るロイヤルティ収益の計上につきましては、各許諾地域における売上集計作業及びライセンス許諾先からの収益報告に一定の時間を要すること、契約上収益に係る報告サイクルが定められていることから当第3四半期連結累計期間における当該プロジェクトに係る収益は、2021年2月～10月の9ヶ月分となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は382,665千円（前年同四半期比20.2%減）、セグメント利益は334,544千円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,958,456千円となり、前連結会計年度比210,600千円の増加(前連結会計年度比4.4%増)となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が146,820千円、投資有価証券が207,295千円、関係会社株式が130,810千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が175,891千円、のれんが70,499千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,280,468千円となり、前連結会計年度比51,271千円の減少(前連結会計年度比3.8%減)となりました。これは主に、未払金が103,007千円増加した一方、未払法人税等が133,452千円、賞与引当金が55,723千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,677,988千円となり、前連結会計年度比261,871千円の増加(前連結会計年度比7.7%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が192,570千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を鑑み、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益について上方修正しております。詳細につきましては、2022年2月14日に公表いたしました「通期業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,777,970	1,602,079
受取手形及び売掛金	1,039,615	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,186,435
有価証券	11,395	19,399
仕掛品	63,824	4,548
その他	106,935	145,829
貸倒引当金	△4,694	△5,030
流動資産合計	2,995,046	2,953,262
固定資産		
有形固定資産	57,585	51,341
無形固定資産		
ソフトウェア	83,543	88,060
ソフトウェア仮勘定	210	6,159
のれん	70,499	—
無形固定資産合計	154,252	94,220
投資その他の資産		
投資有価証券	1,274,753	1,482,049
関係会社株式	—	130,810
その他	273,585	254,140
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	1,540,971	1,859,632
固定資産合計	1,752,809	2,005,194
資産合計	4,747,856	4,958,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	18,000	—
1年内返済予定の長期借入金	30,560	28,560
未払金	521,339	624,347
未払法人税等	158,007	24,555
賞与引当金	118,998	63,275
その他	189,554	265,870
流動負債合計	1,236,459	1,206,608
固定負債		
長期借入金	95,280	73,860
固定負債合計	95,280	73,860
負債合計	1,331,739	1,280,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	416,031	417,771
資本剰余金	409,838	411,578
利益剰余金	2,317,638	2,510,209
自己株式	△951	△1,082
株主資本合計	3,142,557	3,338,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,015	33,236
為替換算調整勘定	4,310	12,101
その他の包括利益累計額合計	294	45,337
新株予約権	7,152	16,591
非支配株主持分	266,111	277,581
純資産合計	3,416,116	3,677,988
負債純資産合計	4,747,856	4,958,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,645,063	5,351,851
売上原価	3,181,566	3,940,209
売上総利益	1,463,497	1,411,642
販売費及び一般管理費	854,548	989,183
営業利益	608,948	422,459
営業外収益		
受取利息	20,719	33,185
為替差益	—	26,448
助成金収入	—	330
投資有価証券売却益	7,972	12,129
損害賠償収入	—	2,162
持分法による投資利益	—	810
その他	1,174	2,964
営業外収益合計	29,866	78,030
営業外費用		
支払利息	1,720	1,286
為替差損	60,106	—
受益権売却損	1,242	296
支払手数料	1,419	541
その他	4,433	13
営業外費用合計	68,921	2,137
経常利益	569,894	498,352
特別損失		
減損損失	—	60,657
特別損失合計	—	60,657
税金等調整前四半期純利益	569,894	437,695
法人税等	201,266	132,663
四半期純利益	368,628	305,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,519	14,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,108	290,779

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	368,628	305,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,738	37,252
為替換算調整勘定	△4,404	7,790
その他の包括利益合計	11,334	45,042
四半期包括利益	379,962	350,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,443	335,822
非支配株主に係る四半期包括利益	3,519	14,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,473,068	1,692,332	479,662	4,645,063	—	4,645,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	361,223	10,291	—	371,514	△371,514	—
計	2,834,291	1,702,623	479,662	5,016,577	△371,514	4,645,063
セグメント利益又は損失 (△)	626,032	△73,371	439,072	991,733	△382,784	608,948

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,065,810	1,903,375	382,665	5,351,851	—	5,351,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	467,421	11,802	—	479,223	△479,223	—
計	3,533,232	1,915,177	382,665	5,831,075	△479,223	5,351,851
セグメント利益又は損失 (△)	541,285	△29,439	334,544	846,390	△423,930	422,459

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、「ソリューション事業」を「デジタル人材事業」に名称変更をいたしました。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託開発事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては60,657千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「受託開発事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において58,453千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。